

# 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

活動隊員：寺田英子・紫 宇代

1. 活動日時 2024年1月30日 (火) 24時間体制(交代制で勤務)
2. 活動場所 珠洲市立 大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)  
避難所使用者数 54人(一時避難者あり) 27世帯 (18時の時点)
3. 被害状況(1月30日 9:00現在) 人的被害:石川県死者236人:行方不明19人
4. 天候:晴れのち曇り 最高気温12℃ 最低気温3℃

## 5. 活動の実際

- 7:00 起床 ホットタオル配布・健康観察
- 8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting
- 9:00 朝食・配膳・下膳
- 10:30 体育館の換気・マスク交換  
避難所使用エリアの大掃除(住民とともに)  
(トイレ・フロア・玄関・整理整頓)
- 10:30 下肢の洗浄ケア
- 11:00 ラジオ体操
- 11:20 災害用簡易トイレ袋の作成(住民の方々と共に作成)
- 12:30 昼食・配膳・片付け
- 13:00 物品整理
- 14:30 巡回・傾聴・健康チェック
- 15:45 換気・ラジオ体操
- 16:00 トイレの環境整備
- 17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting
- 18:00 夕食 配膳・下膳
- 19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting(本部長含む)
- 19:45 看護師ラウンド
- 21:00 消灯
- 22:00 報告書記載
- 23:00 看護師巡回  
巡回以降、交代で休憩・仮眠

## 6. 考察

### 【避難全体について】

日中の生活のリズムは穏やかに流れ、住民同士のトラブルもなく過ごされている。住民は高齢者の割合が高いものの少人数である為、お互いのコミュニケーションが図りやすい。

子どもが5名入所している為、にぎやかな面もあり住民の癒しとなっている。

入浴に関しては、物品担当の責任者と千葉県の行政、ボランティアの方々にシャワーや、五右衛門風呂の設置を行い、住民の方に入浴を促す。実際、利用した住民は「1か月ぶりで気持ちよかった。生き返った。」などの声が聞かれた。

環境面に関しては、珠洲市内でコロナ感染者8名との報告あり。次亜塩素酸ナトリウムなどを使用し、トイレ・洗面所など環境整備を実施。また、住民に災害用簡易トイレ袋の作成協力を依頼し、清掃も共に行った。協働する時間を設け、自立に向けての働きかけを徐々に行っている。

生活面では、上下水道が不通の為、洗濯ができない日々が続いている。車を運転して洗濯ができる避難所へ行かれる住民も見られるが、予約が取れない・順番待ちが長いなどの苦悩も聞かれる。現在は、洗濯機の注文を行い、搬入待ちであり、本部や物資担当者間では、排水などの処理について検討されている。

住民の心理的な状況に関しては、2次避難への移行が決定していたものの、事情により延期になったが、次の目途がないために戸惑いも見られる。今後の生活についての不安を口にする方が多いが、じっくり傾聴すると「もう、一旦、富山行って、出来たら、また帰ってきたいから。あっちいっても一緒かな？どうなんかな？」など、心の内を語られていた。それぞれの今後の方向性を考えながら、迷い、決断している時期でもあり、じっくりと時間をとりながらかかわっていく必要があると考える。

### 【健康面について】

急病や感染者無し。下肢浮腫2名。住民の希望でラジオ体操1日2回実施。

食事も1汁2菜の3食の提供あり、野菜中心の手作りで栄養バランスが考慮され、塩分も控えめに調理されている。住民も口々に「おいしい」と召し上がっている。特に便秘などの訴えなし。口腔内のトラブル・悪化なし。

夜間、頻回にトイレに行かれる高齢者あり。杖歩行者には家人が付き添う。外の仮設トイレに加え、体育館の右手近くのトイレの使用開始。身障者トイレからは距離的に近くなり、気温差の生じる仮設トイレに比べ安全で安心な状況で排泄ができるようになった。

電気の復旧あり。次回は洗濯機の設置を検討中。

以上